



夏休みの巡回中に遭遇した素敵な光景

夏休み中の巡回補導の際、ほのぼのとした素敵な光景に遭遇しました。

午後4時過ぎ、陵南小校区を巡回しているときのことです。

集落の花壇らしきところで人影を認めました。振り返ると、花壇の草取りをされていた親子のようでした。まだ日中の陽射しが強い時間帯ただけに、「ええっ・・・？ こんな暑い中、草取り？ しかも、自宅ではない集落の花壇を・・・？ それに、子どももいっしょだ・・・」と、驚きが先に立ちました。そのため、いたわりの声かけを言いそびれてしまいました。

しばらく巡回していると、同じような光景にまたしても遭遇しました。つい感激して、「暑いのに、本当にお疲れ様です。」と声かけすると、草取りの手を休め、二人の子どもたちが巡回車に向かってとびっきりの笑顔で手を振ってくれました。「ありがとう。草取り、がんばってね！」と、さらに声をかけると、飛び跳ねながら大きく手を振って笑顔で見送ってくれました。その子どもたちの傍らには、まばゆい表情で子どもたちを優しく見守っておられた母親らしき方の姿が・・・。



花壇の草取りをされていた親子のおかげで、暑さを忘れ、ほのぼのとした気持ちに包まれました。「このような体験奉仕活動にお子さんを伴って参加される親御さんが素敵だなあ。お子さんにとっても、暑い中、汗をかきながら親子で草取りをした活動は『夏の日思い出の1ページ』として、いつまでも心に残るだろうなあ・・・」と思うことでした。

また、夏休み中の野外活動の状況を確認するため、黒石岳森林公園まで巡回車を走らせたときのことです。市街地からかなり離れており、目的地までの道路状況も険しく、天候もやや曇り空——。「好天気でもない中、さすがにここまで来られる方はいないかもなあ・・・」と思いつつ、目的地に到着。

公園内の道路を巡回していると、意外や意外。道路脇を散策している3人の子どもたちに遭遇しました。子どもたちと少し距離を置いた後方には、祖父らしき方が子どもたちの安全を優しく見守るかのようにつき添われていました。楽しそうにおしゃべりしながら散策していた子どもたちをバックミラーで確認しながら、「自然と触れ合う楽しさをお孫さんたちに味わせようと、わざわざここまで連れて来られたんだらうなあ・・・」と、引率の方の思いを想像することでした。



1 学期の補導集計結果から

右の表は、13名の補導員の方々から報告していただいた今年度4月から7月までの補導実績の集計です。

ご覧のように、自転車関連の課題が目立ちます。

当センターによる巡回補導でも、ノーヘルで自転車走行をしている子どもたちが年々増加しているように感じます。

ヘルメット着用については、学校や家庭でも今一度改めてご指導願いたいものです。大切なお子さんの命を守るために。

帰宅指導	6
自転車の二人乗り	4
自転車のノーヘル	11
自転車の並進、無灯火等	7
広がり歩行、斜め横断等	5
危険な遊び等	5
その他	5